

第18回教育委員会（定）

開会日時 令和3年 10月 7日（木） 午前 10時00分
閉会日時 午前 10時15分
開会場所 教育支援センター

出席者

教 育 長	中 川 修 一
委 員	高 野 佐紀子
委 員	青 木 義 男
委 員	松 澤 智 昭
委 員	長 沼 豊

出席事務局職員

事務局次長	水 野 博 史	地域教育力担当部長	湯 本 隆
教育総務課長	近 藤 直 樹	学 務 課 長	星 野 邦 彦
生涯学習課長	家 田 彩 子	地域教育力推進課長	諸 橋 達 昭
指導室長	氣 田 眞由美	教育支援センター所長	阿 部 雄 司
新しい学校づくり課長	渡 辺 五 樹	学校配置調整担当課長	久 保 田 智 恵 子
施設整備担当副参事	千 葉 享 二	中央図書館長	大 橋 薫

署名委員

教育長

委 員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 皆さん、おはようございます。本日は、4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しております。

青木委員は、オンラインでの出席となります。

それでは、ただいまから、令和3年第18回の教育委員会（定例会）を開催いたします。

本日の会議に出席する職員は、水野次長、湯本地域教育力担当部長、近藤教育総務課長、星野学務課長、氣田指導室長、渡辺新しい学校づくり課長、久保田学校配置調整担当課長、千葉施設整備担当副参事、家田生涯学習課長、諸橋地域教育力推進課長、阿部教育支援センター所長、大橋中央図書館長。

以上、12名でございます。

本日の議事録の署名委員は、会議規則第29条により長沼委員にお願いいたします。

本日の委員会は、2名から傍聴申し出がなされており、会議規則第30条により許可しましたので、お知らせいたします。

それでは、議事に入ります。

○報告事項

1. 人事情報（都費職員・令和3年9月分）

（区費職員・令和3年9月分）

（指－1・指導室）

（総－1・教育総務課）

教 育 長 それでは、報告事項を聴取します。報告1「人事情報について」、初めに、都費職員について指導室長から、続いて区費職員について教育総務課長から報告願います。

指 導 室 長 よろしくお願いたします。

まず、都費の正規職員についてのご報告をさせていただきます。

9月末の教職員数は、ここに書いてございます括弧の休職者なども含めて、総勢1,954人でございます。

先月と比較して1名減というふうになっておりますが、これにつきましては、9月16日付で退職が1名あったということに伴っております。

休職者が全体として116名ということで、先月と比較して、1名増でございます。

以上でございます。

教育総務課長 続きまして、区費職員でございます。

「総－1」の資料をご覧ください。

1は記載のとおりでございますが、2ページ目の会計年度任用職員の方をご覧ください。

学校生活支援員と個別支援アドバイザーが減員になっておりますが、いずれも退職によるものでございます。現在、補充のための募集をしております。
説明は以上です。

教 育 長 質問、意見等ございましたら、ご発言ください。
私の方から、学校生活支援員についてなのですが、必要数は96と出ているのですが、これは学校からの要請はかなり出ているが、人が見つからないという状況なのでしょうか。

指 導 室 長 いいえ。以前はそういう状況があって、なかなか要請はいただいていたのですが、人がいないということがありました。今現在は、特に要請がそこを超えてはおりません。

教 育 長 ありがとうございます。
よろしいでしょうか。

(はい)

○報告事項

2. 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果と分析（概要版）

(指-2・指導室)

教 育 長 それでは、報告の2に移ります。「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果と分析（概要版）」について、指導室長から報告願います。

指 導 室 長 お願いいたします。
資料は「指-2」になります。
令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果の概要版でございます。
まずは、平均正答率でございますが、小学校は、全国と比較しまして、国語で2.3、算数で1.8ということで上回っております。
中学校におきましても、全国平均と比較しまして、国語は2.4ポイント、数学は1.8ポイント上回りました。
全体として、東京都平均には近づかない部分はありませんでしたが、全体的に向上しているという結果が出ております。
それから、平均正答率のところ、棒グラフのところが出ておるかと思いますが、ご覧いただくと、小学校は、全国平均と比較しまして、国語、算数ともに上回りました。
中学校国語は、全国平均と東京都の平均も上回っております。
数学については、全国平均より上回っているという状況になりました。
小学校も中学校も、どの教科書も東京都よりは若干下回るところはあるのですが、随分、東京都に近づいてきているということと、全国平均は超えてき

たというような状況で、全体的に向上しているという結果が出てよかったと思います。

本区の大きな課題でありました、無回答率の多さということが1つ課題だったのですが、昨年度は調査がございませんでしたが、平成31年度の調査から比較しますと改善されておりまして、東京都の平均の無回答率との差も縮まっているという状況がございます。

ただ、無回答率の高い問題は、やはり例年とあまり傾向が変わらずで、目的や意図に応じて、理由を明確にして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するとか、自分の考えを根拠をもって説明するとか、そのようなところの部分の課題に対して無回答が多いという結果は、傾向としてはこれまでとあまり変わっていないところがありますので、より読み解く力を軸とした、アウトプットまでしっかりとできる学力、授業革新も含めたところでの学力向上を進めていきたいというふうに考えております。

各学校の方は、それぞれの学校の自校の結果を分析し、学校長自らしっかりと分析をして、そして校内でそれを共有しながら、それぞれの課題を把握して、それに合った向上策を考えていくということで学校の方には指導しているところでございます。

以上でございます。

教 育 長 質問紙の方はよろしいですか。

指 導 室 長 質問紙。テレビゲームのプレイ時間ということで、その調査のクロス集計というところで、1つの傾向としては、小学校でテレビゲーム等を全くしないと回答した国語の平均正答率が若干高いとか、算数でもその結果が出ているというようなことがありますので、若干、生活習慣と学力の向上、それぞれの項目によっては関係性があるかなというところは伺えたところでございます。

教 育 長 ありがとうございます。
質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

長 沼 委 員 詳しいデータ、ありがとうございます。
板橋区のいわゆる授業スタンダードの取組の成果が出てきていると思います。
それから読み解く力についても実践が始まっていますが、これはもちろん積み上げていって、時間がかかるものですから、すぐに結果が出るものと出ないものがありますが、しかし、出つつあるというところで、順調にこれまでの成果が出ているなというふうに拝見しました。
それで、この資料の中で、質問紙調査との連動を見ているのですが、各活動については、ここで国語と算数が書かれていますが、例えば話し合う力というのが、これから主体的・対話的で深い学びがさらに進行してきますので、話し合い活動などが行われているかどうかというところとの相関みたいなものがあるかどうか。

今じゃなくても結構なのですが、今日なければ、またこの次にでも紹介していたらと思いたしますが、その点はいかがでしょう。

指導室長 ありがとうございます。全部の質問は載せ切れないところがございますので、指導室としては、様々ところでクロス集計等をしているところがございますので、また、後ほど、お伝えさせていただきたいと思いたします。

長沼委員 ぜひ、よろしくお願いたします。

教育長 ありがとうございます。
そのほか、いかがでしょう。よろしいでしょう。

(はい)

○報告事項

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社会教育施設の利用時間等の変更について

(生－1・生涯学習課)

教育長 それでは、報告3に移ります。「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社会教育施設の利用時間等の変更について」、生涯学習課長から報告願いたします。

生涯学習課長 よろしくお願いたします。資料「生－1」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社会教育施設の利用時間等の変更についてでございます。

緊急事態宣言が終了しましたが、10月24日までは今と同じ時間で、9時まででやらせていただくというものです。

以上です。

教育長 よろしいでしょう。
お願いたします。

○報告事項

4. 「第28回いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門」の募集について

(図－1・中央図書館)

教育長 それでは、報告4「第28回いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門」の募集について」、中央図書館長から報告願いたします。

中央図書館長 説明します。資料「図－1」をご覧ください。

こちらは例年実施している取組でございます。国際絵本翻訳大賞につきましては、一般部門を8月末から募集を開始して、既に募集枠を終えております。

これの中学生部門ということで、今日お持ちしましたが、こちらの「HOME IN THE WOODS」という課題の一部をコピーして全ての区内中学校にお送りしまして、課題としまして翻訳をしていただく、そのコンクールをするものです。

審査員は、一般部門の審査員と同じく、三辺律子先生、また、ないとうふみこ先生、プロの翻訳家の方に審査をいただくという取組でございます。

応募締め切りは、年明けの1月13日までとしております。

2ページ目の9番なのですが、例年、この表彰式につきましては、年度末にこの区役所の1階のロビーを使って開催しておりましたが、新しく中央図書館が開館しましたので、図書館ホールを使って、大人の一般部門の方と一緒に、来年8月になるのですが、このときに表彰式を開会したいと思っております。

説明は以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

高 野 委 員 表彰式の時、今まで区役所1階で子どもの作った絵本展をやっていましたが、そちらの方はそのままやるのでしょうか。

中央図書館長 後日、こちらの委員会でもご報告はさせていただきますが、絵本展も図書館ホールを使うことになっておりまして、区役所での展示は、別の催しになるかと思えます。

教 育 長 私からですが、10番の応募の結果を見ていて、何か少し寂しいなと思うのは、公立が、区内の中学校22校のうち10校の申し込みであるということ。

学校によってはかなりの作品が出ているところもあると思うのですが、私は、このような取組って、絵本のまちにもつながると同時に、やっぱり英語に対する興味・関心を高めていくというところ、それから、もちろん能力的なところもというところで、もっと教育委員会として中学校にプッシュして、参加を強く呼びかけていくというような、そのような方向性というのはどのようなものでしょうか。

中央図書館長 今まで、課題認識をずっと持ち続けてきまして、各研究会だとか、校長会を通じて説明はしてきたところではございます。

それ以上、強制的に何かをするというような立場まで持っていないところもありますので、ご理解をいただきながらということしかないのかなというのは、少し悲しい、寂しいところもありますが、感じているところです。

教 育 長 例えば、中学校校長会長とか中学校の英語の担当校長等にも、何か、このような趣旨、つまり板橋区のこの国際翻訳大賞自体が、日本の中で非常に価値のあるものだ、そこをやっている主体である板橋区の子どもたちが、そういうものに積

極的に参加してほしいんだという強い願いを、ぜひ、アピールしていただいて、参加校数や参加者数、数だけでなく、質的にも変わっていくと良いと思います。ぜひ、もうひと押し進めていただきたいなと思います。よろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

(はい)

○報告事項

5. 「第27回いたばし国際絵本翻訳大賞」出版絵本の配付について

(図-2・)

教 育 長 それでは、次に、報告5「「第27回いたばし国際絵本翻訳大賞」出版絵本の配付について」、中央図書館長から報告願います。

中央図書館長 「図-2」の資料をご覧ください。

先ほどのお話は28回目なのですが、これは今年度出版されました翻訳大賞の出版絵本を配布するという趣旨の報告でございます。

配布する絵本は、こちらに2冊お持ちしました、「もりにきたのは」という英語部門の大賞作品、それからイタリア語部門の大賞作品の「きょうはだめでもあしたはきっと」というタイトルです。

どちらも、柄もかわいらしく、また、中身については、環境問題だとか、テーマ性のある作品を課題絵本としましたので、より多くの人に手に取っていただきたいと思っております。

こちらの出版物は既に販売されておまして、絵本を扱っている都内の書店などでは普通に手に取ることができますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

教 育 長 ありがとうございます。

質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。よろしいでしょうか。

私も、拝読させていただきましたが、本当に、今、館長からもお話しのように、環境教育といった社会的な問題等にも絡めて、非常に興味深い絵本ですので、ぜひ、お手に取っていただければと思います。よろしく願いいたします。

次に、教育委員会次第にはございませんが、追加報告事項はありませんでしょうか。よろしいですか。

(はい)

教 育 長 それでは、以上をもちまして、本日の教育委員会は閉会いたします。ありがとうございました。

午前 10時 15分 閉会